

小中学校 外国語の指導におけるICTの活用

県教育庁義務教育課

ここに掲載した内容は、文部科学省 HP「各教科の指導における ICT の効果的な活用に関する参考資料」から抜粋したものです。詳しくは、下記文部科学省 HP をご覧ください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_00915.html

【言語活動・練習】 発表ややり取りをする活動

小学校 We Can! 1に対応した自作教材を活用した発表をする活動



教材: We Can! 1のイラストを読み込んで自作

内容: 児童が一日の生活を発表。本授業では、朝食が話題(What do you have for breakfast?)。児童が朝食の食べ物イラストを、対応する動物・頻度の下に移動させ、表を作成し、それを基に発表する。

(熊本県 五木村立五木東小学校 5年生)

小学校 友達の発表の録画の視聴と、児童同士のフィードバック



録画された他の児童の発表を視聴し、タブレット端末に発表についてのコメントを記入する。交流画面では全てのコメントを一覧にして閲覧し、交流することができる。

(京都教育大学附属 桃山小学校)

中学校 インフォメーションギャップを作り出す即興プレゼンテーションの授業

隣同士で異なるタスクや質問を、教師のICT機器→生徒のタブレット端末に一斉配信し、1対1のプレゼンテーションを行わせる事例。

- ① 社会科の学習を踏まえ、自分が興味をもった国について調べ、当該国の魅力と思った画像(建造物や自然、食べ物などの写真)をタブレット端末に保存。
- ② プレゼンテーションに取り組む直前に、聞き手の生徒が、自分の興味あること(自然に興味がある、スポーツに興味があるなど)を話し手(写真の女子生徒)に伝える。
- ③ 話し手は、聞き手の興味に合うと思う画像を、タブレット端末に保存している画像から何枚か選び、それらの画像を映し出しながら、即興でプレゼンした。加えて、プレゼン後に聞き手からの質問に答える活動を設定。



(岐阜大学教育学部附属中学校)

当該活動においても、タブレット端末に保存されている画像を適宜使いながら即興で質疑応答させた。

【言語活動・練習】 書いたり発表をしたりする活動

小学校 タブレット端末を使用した資料作成と発表「行きたい国のコマーシャルを作ろう」

インターネットのイメージ検索と組み合わせることで、個々の児童の興味・関心に合ったプレゼンテーションを作ることができる。

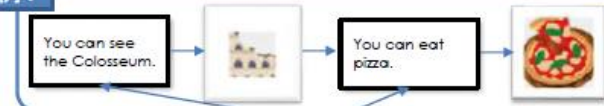
1 単元の学習で英文を書きためる

(例)
Italy is a nice country.
You can see the Colosseum.
You can eat pizza.
It's delicious.



3 発表用のプレゼンテーションを作る

例1



書きためた英文を1文ずつ写真で取り込むかタイピングして入力する

例2



Web検索した写真の上に英文をタイピングして入力する

2 英文にあう写真をタブレット端末でWeb検索する



4 グループで発表し、その様子を撮影し共有する



(宮崎市教育情報研修センター)

29

【言語活動・練習】 書いたりやり取りをしたりする活動

中学校 タブレット端末を活用し、生徒に気付きをもたらす「メモ」の書き方を学ぶ学習

場面 : メモを基に「話すこと[やり取り]」に取り組ませる際に行う指導(メモの書き方の指導)
データ: 生徒が作成したメモ

(本実践の流れ)

- ① メモを書かせ、それを基に「話すこと[やり取り]」に1度取り組ませる
- ② 当該言語活動後、ある生徒が作成したメモをタブレット端末で撮影し電子黒板に映し出す
- ③ 当該生徒に、全体の前で「話すこと[やり取り]」を再現させる
- ④ 他の生徒には、電子黒板に映されたメモを見ながら当該生徒の発話を聞かせる
- ⑤ どのようなメモが話す際に効果的であるかを指導(気付かせる)
- ⑥ 学んだことを踏まえ全員にメモを改善させる
- ⑦ 改善したメモを基に再度「話すこと[やり取り]」に取り組ませる

(神奈川県 相模原市立相模台中学校)



中学校 生徒の回答のデータベース化による、学校を超えた学び合い

・あるタスクに対する筆記等をデータベース化。同じタスクに取り組んでいる他県の中学生の筆記内容から、表現内容を学び合う。同じ教科書を使用している学校同士ならやりやすいと考えられる。教室や学校の枠を超え、国内の広範囲での全国的な表現内容の学び合いを行うことができる。